



つのもちよう

第53号

議会だより



天狗高原に咲くタンポポ

3月定例会

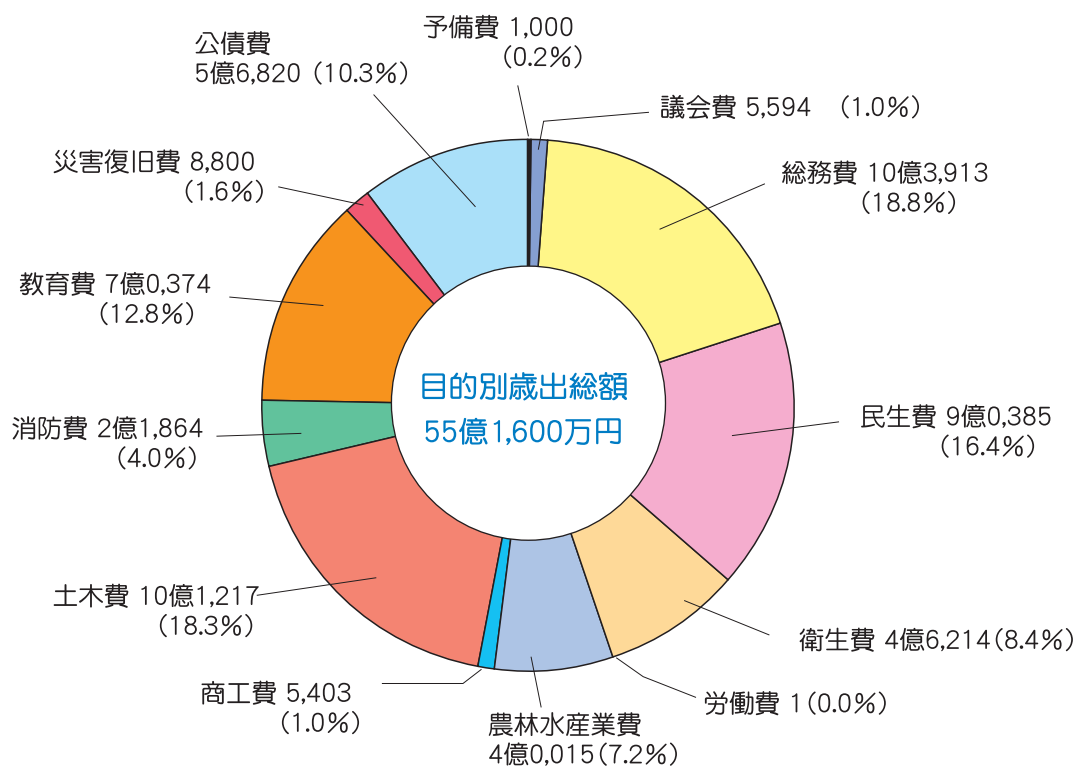
平成30年5月1日発行

発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 議長 大崎公孝
印刷 笹岡印刷所

主な紙面

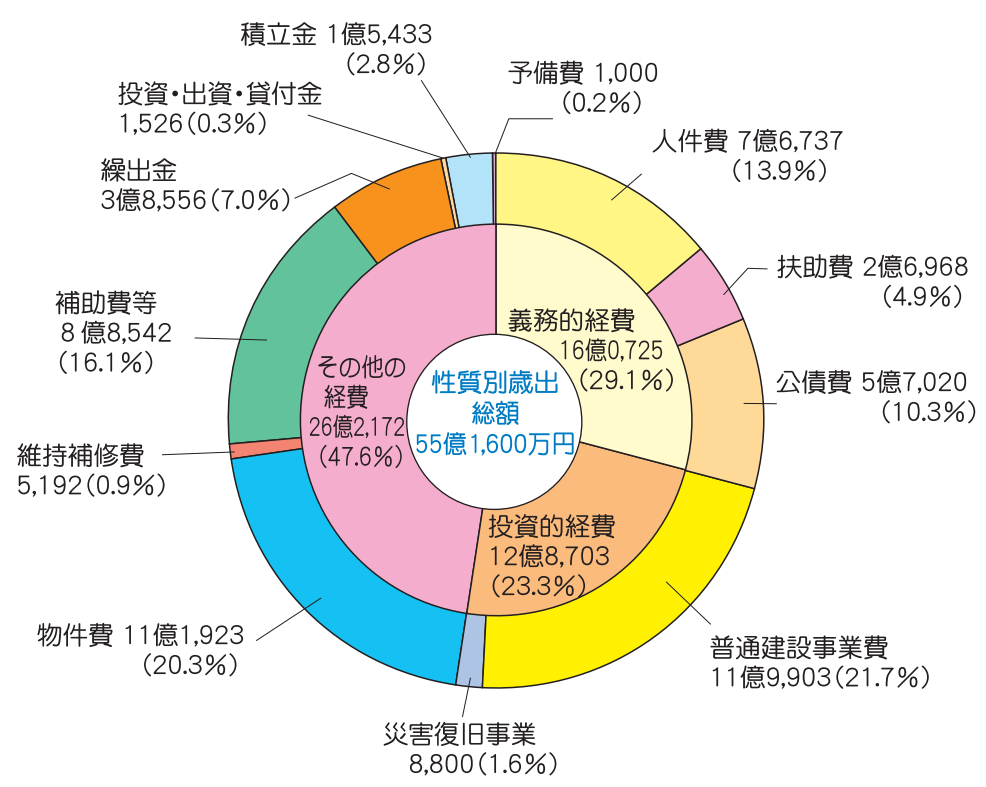
平成30年度一般会計当初予算	2P
読者クイズ	6P
施政方針	7P
町政を問う（4人が一般質問）	9～15P

一般会計予算歳出構成



(単位 万円)

- 歳出(支出)
- 議会費
議員活動に要する経費。
 - 総務費
役場庁舎や町営住宅の維持管理、交通安全対策、選挙などに要する経費。
 - 民生費
社会福祉や児童福祉、老人福祉などの経費。
 - 衛生費
予防接種や検診などの保健衛生やゴミの収集などの経費。
 - 農林水産業
農林水産業を振興するための経費。
 - 土工費
商工業の振興や観光事業に要する経費。
 - 土木費
町道の改良、維持管理や県道の改良事業負担金に要する経費。
 - 消防費
消防施設等の整備に要する経費。
 - 教育費
学校教育をはじめ、社会教育、体育行事の運営に要する経費。
 - 災害復旧費
災害復旧に要する経費。
 - 公債費
町債(借入金)の返済に充てる経費。



国民健康保険の財政運営責任主体が平成30年度から県に移行。制度改正1年目であり現行税率を据え置く。国民健康保険事業勘定は、国税の引き上げ及び一般会計からの財政支援等繰入金が行われていない。財政調整基金の減少により、厳しい運営状況である。

簡易水道事業特別会計は、白石簡易水道整備工事及び中央簡易水道改修事業、公債費の償還による。

介護保険事業特別会計は、65歳以上の介護認定者に対する所要額を計上した。

生活環境施設整備特別会計は、合併処理浄化槽30基分を予算化した。

後期高齢者医療特別会計は75歳以上の人口1千509人を対象に、低所得者に対する保険料の軽減分を含めた所要額を計上した。

29年度補正予算

▼一般会計補正予算(第6号)

各事務事業について決算見込み額に対する予算の過不足額を計上するとともに、ふるさと納税寄付金及び基金積立金を3千700万円、返戻品に係る経費2千230万円減額し、木材加工流通整備事業に5千500万円、大型施設整備事業の予定により財政調整基金2億7千808万6千円を取り崩し、公債費の繰り上げ償還4億1千471万2千円を計上。歳入歳出6千900万円を増額し、歳入歳出の総額を63億2千800万円とする。

可決(全員一致)

▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

事業勘定で2千685万4千円を増額。直営診療施設勘定で666万9千円減額。歳入歳出の総額を事業勘定9億5千237万3千円、直営診療

施設勘定1億5千129万円とする。

可決(全員一致)

▼介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

平成29年度保険給付費の過不足額を計上。歳入歳出8百10万円を減額し、歳入歳出の総額を7億8千75万5千円とする。

可決(全員一致)

条例の制定・改正

▼津野町指定居宅介護支援事業者の指定に関し、必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定

高知県が行ってきた指定居宅介護支援事業者の指定等の事務を、平成30年4月1日から市町村で実施することとなったことに伴い、当該事業の認可申請があつ

た際に、その事業の人員及び運営に関し基準を満たしているか審査をする必要があり、判断基準を条例で定めるもの。

可決(全員一致)

▼片岡直輝・直温生家設置及び管理運営に関する条例の制定

津野町の歴史文化の情報を広く発信するとともに、地域の振興を図るための施設として、地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき条例を制定するもの。

可決(全員一致)

▼津野町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険制度改革に伴う国民健康保険法施行令の一部改正により、国民健康保険の事務及び協議会に関する文言を改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険制度改革に伴う地方税法等の一部改正により、国保課税額の規定を改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

国民健康保険制度改革に伴い、高齢者の医療の確保に関する法律第55条の2の規定が新設されたことにより、後期高齢者制度における被保険者の住所特例の規定を改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

改修工事により施設整備が整い、これまでに住民の健康増進、老人福祉の向上等に向けて指定管理を行うために改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町介護保険条例の一部改正

平成30年度から平成32年度までの第7期の介護保険計画に基づき、平成29年度までの第6期計画の保険料基準月額4千580円を、80円増額し、月額4千660円(年額5万5千920円)と定め、1段階から9段階までの介護保険料額に関する適用法令の条項を改正するもの。

可決(全員一致)

賛成討論

高橋 津野町の介護保険料は、県下的にも安価な金額が出されており、努力の跡も認められますので賛成するものである。

▼指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備

介護サービスに係る基準の見直しが行われ、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、町が条例で定めている地域密着型サービス、地域密着型介護予防サービス及び指定介護予防支援等の各種基準の見直しを行うもの。

可決（全員一致）

▼津野町在宅介護支援者支援条例の一部改正

これまでの対象である高齢者で、要介護度認定4・5の者を常時在宅で介護している者に加え、高齢者以外の要介護度認定4・5の者を常時在宅で介護している者を対象とするもの。

可決（全員一致）

▼津野町道路の構造の技術的基準及び道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部改正

道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部を改正する命令により、標識番号の番号ずれが生じたこと。また、車道の幅員及び路肩の幅員をそれぞれ改正するもの。

可決（全員一致）

▼津野町分担金徴収条例の一部改正

県営土地改良事業における道路整備事業の分担金について、その徴収を廃止するため改正するもの。

可決（全員一致）

その他の議案

▼津野町公の施設の管理に係る指定管理者の指定

白石地区集落活動拠点施設の指定管理者として「白石地区活性化検討委員会」を指定。可決（全員一致）

津野町直販所十津店の指定管理者として「有限会社津野町ふるさとセンター」を指定。可決（全員一致）

津野町農村交流施設床鍋森の巣箱の指定管理者として「森の巣箱運営委員会」を指定。可決（全員一致）

高原ふれあいの家天狗荘の指定管理者として「一般財団法人天狗荘」を指定。可決（全員一致）

津野町生産物直販所の指定管理者として「有限会社津野町ふるさとセンター」を指定。可決（全員一致）

津野町老人デイサービスセンター「津野ゆの里」の指定管理者として「高陵特別養護老人ホーム組合」を指定。可決（全員一致）

津野町吉村虎太郎邸の指定管理者として「維新の魁虎太郎社中」を指定。可決（全員一致）

▼津野町立幼保連携型認定こども園を土佐市の住民の利用に供させること

津野町立幼保連携型認定こども園を土佐市の住民の利用に供させるもの。

可決（全員一致）

▼土佐市立保育所を津野町の住民の利用に供すること

土佐市立保育所を津野町の住民の利用に供すること。可決（全員一致）

▼津野町道の路線の廃止

道路法第10条第1項の規定に基づき町道の3路線を廃止するもの。

可決（全員一致）

▼津野町道の路線の認定

道路法第8条第2項の規定に基づき町道の7路線を認定するもの。

可決（全員一致）

委員の選任

▼教育委員

西内香織氏（再任）
津野町姫野々
昭和45年生



専決処分の報告

平成28年度林道災第1号林道柿の木谷線災害復旧工事請負契約金額を90万9千360円減額し、3億2千409万9千360円とするもの。

平成28年度第2―2号町道芳生野奈路線橋梁上部工事請負契約金額を235万4千400円増額し、6千661万4千400円とするもの。

平成29年度林道金剛線舗装工事請負契約金額を29万520円減額し、4千766万1千480円とするもの。

平成29年度第7―1―1号大野簡易水道(1工区)施設整備工事請負契約金額を497万8千800円増額し、1億6千255万800円とするもの。

平成29年度第7―1―2号大野簡易水道(2工区)施設整備工事請負契約金額を483万8千400円増額し、1億6千562万8千800円とするもの。

するもの。

平成28年度(繰越)葉山中学校プール改修工事請負契約金額を5万9千400円減額し、1億3千751万5千320円とするもの。

平成29年度片岡直輝・直温出生地家屋保存改修工事請負契約金額を28万8千360円増額し、5千422万320円とするもの。

平成29年12月13日付けで議決のあった、津野町防災拠点施設建設用地に係る土地取得金額を43万1千797円減額するもの。

平成29年10月10日に発生した、町道神ノ木前線の道路側溝グレーチングの跳ね上がりにより、車両を損傷した事故について、和解及び損害賠償額を決定したものの。

陳情の審査

▼こどものための予算を大幅に増やし、国の責任で安心できる保育の実現を求める意見書の提出を求める陳情
(決定) 採択

平成30年度一般会計予算
賛成討論

大崎(芳)
非常に厳しい財政の中で予算を組んで努力をしていると思う。農林業支援、観光を活かしたまちづくりを進めるよう希望して賛成の意見とする。

読者クイズ

下記の問題の○に入る言葉のうち①～⑤を繋いで言葉を完成させてね。

答えは今月号の議会だよりの中にあるよ!!



1. 津野町の介護施設入居の○○○①○は22名
2. 四万十町B&Gにできている○○○○②○
3. 桂の茶園は○③○○○○と提携している
4. 平和主義を規定している憲法9○④○
5. 集落活動センター設立から6年間の支援をする地域○⑤○応援金

官製はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、感想など一言をご記入の上、5月末日までに裏面にある議会事務局まで応募下さい。

正解者の中から抽選で5名の方に、プレゼントをお送りいたします。なお、当選者は次号にて発表いたします。

更なる 行政改革を推進



池田町長

施政方針

津野町総合商社化

全体が同じコンセプトのもと、外貨を稼ぎ町内の供給量拡大に充当する「津野町まるごと地産外商戦略津野町商社化構想」により新たな生産流通システムの構築に取り組む。

国の地方創生推進交付金を活用し、計画期間を3年とする。

補助率アップ

園芸用ハウス整備の補助率を新規就農75%を90%に、規模拡大66%を75%に増大し、担い手・後継者の確保を図る。

Wi-Fi整備

避難所などの防災拠点施設に情報収集や通信手段として活用できるようにWi-Fiを整備する。大規模災害時でも地域住民や来訪者が災害情報等を効果的に受発信できるようにする。

「PFI方式による地域優良賃貸住宅」の整備を推進

遊休町有地を活用し、人口ポータルにより選定した町内の民間企業と連携し、町外から移住者や若者・子育て世帯向けの賃貸住宅を民間企業が整備。

町が一定額の建築費と家賃への補助をすることで、官民連携で移住者の確保と町外流出防止に取り組む。

防災拠点の建物設計着手

本年度は敷地造成工事を行い駐車場の部分供用を開始。防災の「砦」となる『機動力』『防災力』『快適性』を兼ね備えた施設をコンセプトに、可能な限りの木造化と町民の利用も想定した建物の設計に着手する。

「町道管理サポート事業交付金」制度を創設

各集落の道づくり作業に対し、延長に応じて上限3万円の使途を限定しない交付金を新たに追加した。

予防接種費の半額を助成

中学生までの子どもがいる世帯に対し、町内医療機関で接種したインフルエンザ予防接種費用の半額を助成する。

コミュニティソーシャルワーカー設置

社会福祉協議会では、支援を必要とする人が孤立しないよう、地域における見守り、発見・つなぎ機能を強化し、更に課題解決に向けてコーディネートしていく体制整備の初年度と位置付ける。

「地域づくり応援金」創設

集落活動センター開所後6年間の発展期間と捉え、健康づくりや見守り活動などの非収益活動を継続的に行うことができるよう創設。地域で支え合う取り組みを支援していく。

「思いやりと協働のまちづくり」「地域資源を活用した豊かなまちづくり」「自然と調和するまちづくり」「健やかで心豊かなひとづくり」「効率的で健全な行政運営によるまちづくり」を柱に、元氣な津野町、住みたい・住んでよかった津野町の実現に向けて、職員とともに英知を結集し全力で町政運営に取り組む。

教育行政方針

子ども達が激しく変化
するこれからの時代を自
らの力で強く生き抜き、
夢に向かって羽ばたくた
めに、知・徳・律の調和
のとれた「生きる力」を
育むことを目指した施策
を展開する。



小学校での読み聞かせ風景

各校に学習支援員を配置

学習支援や生活支援を必
要とする児童生徒が増加傾
向にある。「将来に夢や希
望を持って生きる力」を育
むためにも不可欠である。
本年度から各校1名の学
習支援員と2名程度の特別
支援教育支援員を配置した
い。

葉山中学校も宿泊体験

平成28年度より3小学
校で長期宿泊体験活動を行っ
てきた。この活動を通し、
子どもたちが大きく成長す
る姿が見えることから、本
年度は葉山中学校も室戸で
体験活動を行う。今後もさ
らに質の高い学習につない
でいく。

管理職の指導力が重要

よりよい保育を行うには
子どもの姿や地域の実態に
応じて、どのような教育課
程を編成し、実施・評価し
改善していくかというカリ
キュラムマネージメントを
確立しなければならず、特
に管理職の指導力が必要と
なる。

そこで、質の高い園運営
を行うために管理職や管理
職候補者の資質・指導力を
上げるための研修を行う。

課題は育成

全国的に社会教育活動を
支える人材や団体の基盤が
弱ってきている。そのよう
な中、文化活動やスポーツ
の推進などの団体について
は「集団としての連帯力」
「集団の中で学ぶことの重
要性や素晴らしさ」などを
訴えながら、自主的・主体
的に知見を広める活動が展
開できるよう育成と支援を
図っていく。

歴史文化の情報発信

4月21日に「志国高知
幕末維新博覧会」第二幕が
開幕。「片岡直輝・直温の
生家」を活用し、地域会
場である「吉村虎太郎邸」
とともに郷土が輩出した偉
人のPRに努める。



久寿教育長

主体的に自立していきる 子どもたちを育成

問 「B & G」に運動機器充実を

答 充分協議し検討する



石川 寿朗

一般
質問

石川

旧村単位で見ると、東区は「里楽」があり、運動機器等健康管理面での設備が充実している。

西区は、冬場は寒く路面の凍結などで、町民の屋外での運動は厳しいと聞く。「B & G 海洋センター」には広いトレーニングルームがあるが運動機器が少ない。近年、ブームのボルダリングなどを設置し充実させては。

教育長

B & G のトレーニングルームは、定期的に高齢者のラージボール卓球、週1回の夜間に空手と剣道教室、休日に小中学生の卓球。トレーニング機器は非常に少ないが、若い世代の筋力強化など年間約千人の方が利用している。

ボルダリング等の新しいスポーツ導入は、現在利用している団体の利便性や安全管理の観点から、人員配置や事故対応の協議が必要。今後、体育協会や一般利用者、スポーツ推進委員の方々と充分協議検討する。



新設して2カ月で約700人が利用している
四万十町「B & G」でのボルダリング

問 「精華橋」の早期改修を
答 改修は次年度に



老朽化した「精華橋」

石川

精華小学校の裏門前の橋が老朽化し、児童の通学橋としても危険な状態である。早期改修が必要では。高橋建設課長

精華橋は昭和2年の架設で、児童の安全面は配慮したく設計を本年度予算に計上。次年度に改修する計画である。

問 奨学金の返還免除制度を
答 議論の余地あり

石川

農林業及び介護や医療・保健関係の人材確保対策として町内に居住、就職等を条件に奨学金の返還免除制度を創設しては。また、U・Iターン者に対しても奨学金相当額の助成金の交付を。

町長

町に必要な人材や有資格者確保については、町内に定住、就業を条件に奨学金の免除型及び義務年限付の給付型として議論を深める。Uターン者は、定住奨励金を交付するなど議論の余地がある。

問 町単独事業で救済を

答 今は考えていない



中山昭英



中山

公共事業は、地域の活性化と雇用の安定に多大の影響を与える。3月には仕事に従事しない方が増え、4月以降の見通しがつかないことから不安な日々を送ることになる。

国の予算取りが回復するまでの間、基金の積立を減額して町単独事業の実施で救済すべきではないか。

一般質問

町長

国庫補助事業の内示は、要望に対して65%から75%止まりの現状であるが、社会資本整備事業が修繕枠に補助金を増額する動きとなってきたので活用したい。

森林整備について積極的に支援しており、これに関わる事業も考えられるし、他の事業に参画、参入する努力もお願いしたい。



整備された町道

中山

問 若者定住対策は
答 緊急課題として取り組む

多くの地域で存続が困難な状況に向かっている。担い手となる若者がいないことが課題である。

高知市内で働く若者や親の介護等で帰って来たい方の調査を提起していたが、帰町への問題点を把握しているか。また、姫野々地区に集中では無く、全域を守るための早急の取り組みを聞く。

町長

緊急課題であり、高幡5市町での移住促進協議会や、職員にも問題意識を持たせ、友人・知人・地域の方々から出身者の情報収集を広く聴取するようにしている。

対象者から相談を受けた際には、仕事、住居、生活などの情報提供を行っている。

29年度から同居支援策として住宅改修に100万円の奨励金を交付。他にも町の無料職業紹介所への求人情報の掲載、新たな空き家を提供する等に取り組んでいる。

また、公有地の遊休地を民間力を活用した賃貸住宅を精華校区と西地区に建てるべく進めている。



郷ふるさとまつり

中山

ふるさと納税の取り組みを民間まかせでは税額は伸びない。財源確保を考えたら町が主導すべきである。納税額が増えれば返戻品が増えて農家等が潤う。産業振興にも繋がって一石二鳥となる。一億円を目標とした具体策を聞く。

町長

生産者の高齢化が進んで生産能力が衰退していることが大きな課題となっており、この改善が急務となっている。連携している東京農業大学の支援で、新しい作物を選定して加工する6次産業化で商品化をしつかりと進める。また、木工等他の加工品も掘り起こし幅広い産業の中で物を作り、外商活動を展開していかななくてはと考えている。

問 ふるさと納税で産業振興を
答 幅広い産業での物づくりを



ふるさと納税のカタログ

中山

在宅介護が困難な町民は充実した施設介護を望んでいる方が多いが、津野町の施設介護には入所待ちや財政負担の課題がある。高原荘の養護スペースの空きを特養にするなど、現状の施設を改善することで対応できることがあるのではないか。

問 施設介護の整備を
答 改善策を模索している

町長

待機者が4年前の34名に對して現在は22名と減少しており、他の施設への重複申し込みや医療ニーズの多い申込者を除けば待機者は非常に限定される現状となっている。高原荘の特養の増床については、施設整備費、介護職員の増員等から赤字の解消には繋がらないと考えている。葉山荘の満床でも赤字経営であり、改善策を模索している状況である。



その他の質問

問 工事の発注見通しは町が繰越分を含めて12億1千万円、県工事が20億5千万円の予定

答

問 総合センターの改修を今年度は、二階の窓に網戸を設置する。

答





西元和代

一般質問

問 町のホームページに
学生モニターを

答 伝言板の意見を活用する

西元

町のホームページの中で、学生や町在住の高校生モニターを設置は主権者教育であると同時に若い感性を発信力に取り込む。社会に出て県外に行けば、そこからまた発信できることで町の応援者が増え広がっていく。学生モニター制度の導入は、

池田町長

若者の発信力は計り知れず、中高生の活用は関係人口の拡大にも繋がる。そうした幅広い世代で発信し津野町ファンを増やす仕組みを探していきたい。ホームページには多くの制約があるのでモニター制度について、なお勉強したい。現在はホームページ上の伝言板での意見を活用する。

問 森林環境税による取り組みは

答 山を活かす森林管理システムに



葉山小学校しいたけのコマうち体験

西元

山の多い本町では森林環境税の活用は有効。間伐や木の香るまちづくり推進事業以外にも全学校での森林環境学習や自然林を活かした観光・体験ツアー等、集落間の連携を含めた取り組みを進めてはどうか。森林環境整備予定とあわせて問

池田町長

重要な視点だと思う。本町の一番の課題は所有者の確定していない山林が多くあること。先の税制改正で林野庁も新たなシステムを提示している。本町にあった森林管理のあり方を探り、山を活かすことを考えていかなければと思っている。

久寿教育長

各学校に事業説明に向き、今年度から全校で取り組むこととなったコミュニケーションスクールの中で森林環境学習を深めていきたい。

問 棚田以外のオーナー制の可能性は
答 畑や茶畑についての可能性も探る

西元

オーナー制度には東京でいう区民農園の他、収穫体験型農園、農業体験型農園や一本の木のオーナー制等様々な形がある。SNSを活用する等、いろいろな方法があると思うが本町ではどうか。

池田町長

地域全体が参加する形がベストな貝ノ川の棚田オーナー制度、キリンビールと提携している桂の茶園の例も含め、それぞれの方法がある。今後、参考にしながら、まずは農地を守り活用して稼げる仕掛けが必要。畑や茶畑などのオーナー制度についても町にあった形と可能性を探っていききたい。



キリンビールと提携している桂の茶園

問 子ども食堂への見解は
答 居場所としての必要性はある

西元

必要性の高そうな朝食の提供には課題が多いが、本町の子ども食堂の必要性は、県は小学校区での設置を推進しているが、あり方を慎重に考えるべき。子どもが主体的に関わるスタイルが望ましいとも思うが、現状と今後に向けての見解は。

久寿教育長

本町では朝食の欠食はあるが、本来の目的である子どもの貧困対策としての必要性は感じていない。保護者が朝食を作ることや子ども自身が作る方向へ指導を行っていききたい。各学校で地域や保護者と共に食事を作るができるようになる体験を進める。県が推進している食事の提供を通じて子どもや保護者の居場所、保護者の負担感の軽減、地域における見守りの場としての子ども食堂については必要性を感じている。

池田町長

居場所としては有意義な仕組みである。運営主体をどのような形にするかが重要。5カ所のあったかふれあいセンターに組み合わせることも考えられるが、現在は社会福祉協議会に頼りすぎている。必要性・運営主体・設置の可能性について地域とキャッチボールしながら検討したい。

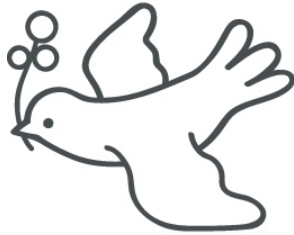
問 町長、副町長の役割分担は

答 明確にしている



大崎 健夫

一般質問



大崎 歴代を通じて振り返れば両者の意思疎通が図られていない事例が多々あった。任務分担はうまく機能しているか。

町長 私の施策提言を実行するためのパートナーとして、私の独走を許さない歯止め役としての役割、任務分担を確認している。

大崎 今、憲法改正議論が重要な国民的課題となっている。世界動乱の中で平和憲法を持っている日本は、憲法9条のおかげで事なきを得ている。つまり戦争をしない、他国を攻撃する軍隊を持たない、専守防衛に徹する憲法である。憲法観について問う。

町長 近隣諸国の憂慮すべき問題もあるが、戦後70余年、日本が平和で繁栄できたのも、9条の果たしてきた役割は大きかったと考えている。

問 9条に対する憲法観は

答 平和と繁栄の役割は大きい

問 介護施設増設は

答 現状で対処していく

大崎 先の9月議会で提案した既存の施設を活用した介護施設の拡充についてはハードルが高いとの答弁があった。このたび町民による要望署名を添えて再度問う。他県の状況などを見ても研究の余地はないか。

町長 現在入所待ちは22名程度であるが、いくつかの施設や医療機関など重複して申し込んでいます。また、人口減少などを考え現状で対応できると考えています。



問 里楽の入場料格差の是正を

答 現状では考えていない

大崎

里楽のプールゾーン利用者に対して町民と町外者の利用料の差が大きい。入場者増をめざして料金格差の是正をしてはどうか。

町長

この施設は約20年前に開設し、町民の健康増進と福祉の向上をめざして運営している。基本的には千円を設定し、町民に対しては町が負担することで500円としているものである。運営も厳しい中、現状の料金でいくしかなない。今後も入場者増のために努力していく。



里楽トレーニングルーム

傍聴記

定例議会傍聴を促す放送を受け、女性ばかりで参加することを約束し、はじめての傍聴に少しとまどいながら議場へ入りました。すでに午後の部は始まり、そつと入場し名前と住所を記入し着席しました。友人の一人は手が震えて書けないので後で書いてほしいとのこと、とても緊張している様子。80分の質問時間を確認して聴いているとマイクの音量の低いことに気が付くが自分の耳のせいだろうと思っていた。隣の男性が質問と答弁の音が聞こえにくいと言。

何項目かの質問も80分足らずで終了され休憩タイムとなった。私は退席し、一人の友人のみ最後まで傍聴できた。感想として津野町のことから国政に及ぶ事項まで幅広いことを論点としていた。次回にも傍聴したいねと約束し、他の人も誘ってみようという年間計画の1つに加え、研修することに決定し

た。私たちは連合婦人会の会員として学習し活動に広がっていかうとする団体の一員です。幼保から小学校の子どもたちとも交流する中で、いつも私たちが元気をもらっています。その子どもたちへの支援や少子化対策、男女共同参画など人口増への働き方の見直しで、津野町や近隣市町村との共生が成り立たないか？高知県全体の問題でもあり尾崎知事から熱心に少子化についてのお話を聞く会合が多い婦人会となりました。町内では高齢になっても元気で働く人々がおいでです。又、地域のなかで何かの役割にたつていかうとされております。行政の皆様にも議員のお一人おひとりにも住民の現状を把握され、今必要とされる事に集中し住民の要望を満たすべく、ご健闘されますようお願い申し上げます。次回定例会も楽しみに参加したいと思っております。ありがとうございます。

津野町永野 大崎章代

議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です。

3月・12月（本庁舎議場）

6月・9月（西庁舎議場）

たくさんの傍聴をお待ちしています。

議会のうごき

- 24 東吉野村発足60周年記念式典 (奈良県・議長)
- 27 高幡広域市町村圏事務組合他定例会 (須崎市・議長)
- 23 津賀ダムに関する会 (梶原町・議長)
- 24 さくらんぼ園卒園式
- 27 高幡東部清掃組合議会定例会 (中土佐町・組合議員)
- 28 高知県土木部への協力要請 (県庁・議長)
- 28 津野山広域事務組合議会定例会 (西庁・組合議員)
- 1 梶原高校卒業式 (梶原町・議長)
- 2 議会運営委員会 (本庁・委員)
- 30 津野山広域事務組合議会定例会 (西庁・組合議員)
- 1 下野大橋完成祝賀会 (町内・議長)
- 4 平成30年度交通安全町民会議総会 (本庁・議長外)
- 4 協議会 (本庁・議長外)
- 12 協議会 (本庁・委員)
- 13 須崎地区地域安全協会監査 (須崎市・議長)
- 14 片岡直輝・直温生家リニユーアルオープン行事 (町内・議長外)
- 17 全員協議会 (本庁・議員)
- 18 協議会 (本庁・委員)
- 20 夏まつり実行委員会 (本庁・委員)
- 23 東洋町議会との合同研修会 (町内・議員)
- 24 津賀ダムに関する会 (梶原町・議長)
- 27 高幡東部清掃組合議会定例会 (須崎市・議長)
- 28 高知県土木部への協力要請 (県庁・議長)
- 28 高幡消防団杉ノ川分団消防車両入魂式 (議長)
- 29 高幡東部清掃組合議会臨時会 (高幡東部・議長)
- 19 高幡東部清掃組合議会臨時会 (高幡東部・議長)
- 14 公有財産有効活用調査特別委員会 (本庁・議員)
- 13 全員協議会 (本庁・議員)
- 9 高知県町村議会議長会理事会 (高知市・議長)
- 8 産業建設常任委員会 (町内・委員)
- 2 議会運営委員会 (本庁・委員)
- 4 お伊勢踊り (町内・議長)
- 8 第1回津野町議会定例会開会 (本庁・議員)
- 9 休会 (12日)
- 10 東津野中学校卒業式
- 11 葉山中学校卒業式
- 13 一般質問 (本庁・議員)
- 14 議案審議 (本庁・議員)
- 14 議案審議 (本庁・議員)
- 22 第35回高幡町村議会議長会臨時総会 (中土佐町・組合議員)
- 15 議案審議・閉会 (町内及び本庁・委員)
- 20 にじいろ園卒園式
- 21 葉山小学校卒業式
- 22 精華小学校・中央小学校卒業式 (高知市・議長)
- 22 高知県町村議会議長会第69回定期総会 (高知市・議長)
- 28 津野消防団杉ノ川分団消防車両入魂式 (議長)
- 27 高幡広域市町村圏事務組合他定例会 (須崎市・議長)
- 24 東吉野村発足60周年記念式典 (奈良県・議長)
- 23 津賀ダムに関する会 (梶原町・議長)
- 24 さくらんぼ園卒園式
- 27 高幡東部清掃組合議会定例会 (中土佐町・組合議員)
- 28 高知県土木部への協力要請 (県庁・議長)
- 30 津野山広域事務組合議会定例会 (西庁・組合議員)
- 1 下野大橋完成祝賀会 (町内・議長)
- 4 平成30年度交通安全町民会議総会 (本庁・議長外)
- 4 協議会 (本庁・議長外)
- 12 協議会 (本庁・委員)
- 13 須崎地区地域安全協会監査 (須崎市・議長)
- 14 片岡直輝・直温生家リニユーアルオープン行事 (町内・議長外)
- 17 全員協議会 (本庁・議員)
- 18 協議会 (本庁・委員)
- 20 夏まつり実行委員会 (本庁・委員)
- 23 東洋町議会との合同研修会 (町内・議員)

編集後記

「20年後には、地区の中で誰が動けよう？」との問いに、誰もが黙ってしまつた。60戸の集落に小学生が3人しかいない現状では明るい展望は望めない。

津野町でも少子高齢化対策が重視され、子育て支援は他市町村に先駆けて多くの施策を実施して一定の成果を大きく上げてきたが、近年は大きな差のない状況となってきた。

町長も次なる施策として高知市を通勤圏としたので、市内に就職した若者が津野町から通勤できる、市内に住む方が帰って来やすい環境整備等の支援策の具体化が求められる。

「老後が不安」は津野町の多くの方が思っている。この解消に向けた町の取り組みを実効性のあるものにしていくために、今こそ町政に声を届けることが大切になっている。

子どもと住める安心の生活を目指して。
(文責 中山 昭英)

津野町議会だより発行調査特別委員会

- 委員長 西元和代
- 副委員長 石川寿朗
- 委員 中山昭英
- 委員 川上智子
- 委員 大崎健夫
- 委員 大崎芳章

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局
津野町永野四七一―

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。